



Weekly Report

2015-16
第15号

RI 会長テーマ Be a gift to the world クラブ会長テーマ もう一度青春！地域のために あと世代のために そして…

第 2254 回例会

追悼例会

日 時 : 平成 27 年 11 月 18 日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

遠藤(常)委員長

開会点鐘

木島会長

斉 唱 : ロータリーソング「奉仕の理想」

お客様の紹介

木島会長

三田 幸子様 故三田浩一会員夫人

ワユ・ナルリタ・デウィさん 米山奨学生

会長報告

木島会長

●地区指名委員会より 規定に従い 2018-19 年度のガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネートとして、東京広尾ロータリークラブ服部陽子会員を指名したとの報告を受けましたので、ここに通知いたします。

つきましては、貴クラブより地区指名委員会が指名した上記ガバナーノミニー・デジグネートに対抗する候補者を推薦される場合は、2015 年 11 月 20 日(金)までに国際ロータリー第 2750 地区ガバナー事務所内、地区ガバナー水野功宛に推薦してください。

●ベネファクター認証状と

ウイングの授与

山崎義晴会員がロータリー財団の恒久基金に 1,000 ドル寄付をされました。

会長より授与→



幹事報告

本間幹事

●今後の予定

●東京立川こぶし RC 創立 30 周年記念式典の参加申込み受付の案内

●第 2820 地区倉沢修一ガバナーより

鬼怒川水害義援金の御礼状が届きました。常総市立図書館復旧のための図書購入資金・茨城県へ鬼怒川水害義援金として寄贈されました。

●谷保天満宮遠乗会のパンフレット作製に広報委員会で協力を行い出来上がり配布しましたので、ご覧ください。

委員長報告

●寺澤親睦活動委員長 年忘れ家族例会のご案内ご案内を配布いたしました。ご家族の皆様にも多数参加をお願いいたします。

●岡田新世代委員長 「命の大切さポスター展」展示作業・賞決めを 18 日例会後に行います。また撤去は 30 日午前 11 時からに変更をしました。ご協力をお願いいたします。

●塞の神どんど焼き実行委員長 喜連紘子

事務局長 北島正典

第 39 回どんど焼きの会議が開かれ、実行委員長・事務局長に任命されました。開催日は平成 28 年 1 月 11 日です。当クラブでは、例年積極的に参加しておりますが、今回は当クラブから実行委員長が輩出となりましたので、一層のご協力と参加をお願いいたします。また、どんど焼きは皆様からの支援金でなっております、心からご協力をお願い申し上げます。

出席報告

高柳出席奨励委員

11月18日 在籍46中 出席39名

前々回(11月4日)の出席率 97.73%

閉会点鐘

木島会長



RI 第 2750 地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会長 木島常明 幹事:本間康彦

例会日:毎週水曜日 例会場:谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209 TEL:042-576-5123

事務所:東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL:kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB:http://kunitachi-rc.com/

会報委員:遠藤直孝・北島正典・青木 健・伊藤達弥・大庭敏也

故三田浩一 会員追悼式

■追悼式次第

1. 黙祷

1. 追悼の言葉

木島常明 会長

岡本貞雄 会員

1. 献花

1. ご遺族挨拶

1. お食事

■開 式

司会：本間康彦幹事

ただ今より、故三田浩一会員の追悼会を開式いたします。故三田浩一会員は、平成27年10月4日にご逝去されました。ご家族の悲しみは如何ばかりかと、お察し申し上げます。また、当クラブにとりましても、かけがえのない人材を失いました。

故三田浩一会員の、クラブでの業績、そして人となりは、後で語られますので省略いたしますが、はじめに故三田浩一会員の在りし日をしのび、ご冥福をお祈りして、黙祷をささげます。

■追悼の言葉

本日ここに故三田浩一会員の遺影を前にして、お別れのご挨拶を申し上げます。お別れのご挨拶を申し上げます。痛恨の極みと感じつつ、謹んで追悼の言葉を述べさせていただきます。

三田さんは昭和62年12月以来28年間の長きにわたって、クラブの発展と奉仕の理想を全うすることに力を尽くされました。その間、1995-96年に当クラブの幹事、2006-07年には多摩中グループ幹事として三田賢治ガバナー補佐を強力にサポートし、多摩中グループの潤滑運営に尽力されました。そして2010-11年には当クラブの第42代会長として、潤滑剤としての役割も果たしながら、自ら強力な推進力で、三田さんらしさを最大限に発揮され、クラブの発展に並々ならぬ尽力をなさいました。

三田会長のクラブ運営方針は、クラブを活性化するためには、何よりも楽しいロータリーでなければならない、との信念のもと、「明るく、楽しく、元気に、奉仕・親睦」と、実に理解し易く、我々会員の心にダイレクトに浸み込んでくるテーマを掲げられましたね。地引網、鶴岡八幡宮、八景島シーパラダイスの納涼家族例会に始まって、年忘れ家族例会は東京湾クルーズ、最終家族例会はフェルミエールで華やかに締めくくりました。そう言えば、かやぶきの郷、薬師温泉旅館も非常に印象に残る親睦旅行でした。まだまだほかにもいろいろと楽しい思い出の多い一年間でしたが、東日本大震災もあの年でした。3・11地震直後からテレビに釘付けになり、未曾有の災害を見続けた事を思い出します。お恥ずかしいことに私は日本の原発設備を信じておりましたが、現実を見て、遅れ馳せながら高木仁三郎さんはじめ原発関係の本を読み漁ったものです。楽しい思い出と言えば、今年の45周年記念親睦台湾旅



行。あの時はあんなに元気に、楽しんでおられました。昨秋のお祭りの時もそうです。はっぴ姿に着飾ったお孫さんと一緒に、実に嬉しそうに、幸福そのもののご様子でお祭りに参加しておられました。

三田さん、あなたは飄々とした中にも常に微笑みを絶やさず、非常に配慮の深い方、気配りの塊のような方でしたね。翌年クラブの幹事を務めなければならない私に、「まだ親睦委員の経験が無いようだから、親睦活動委員会に入れておいたよ。幹事をやるには絶対必要だからね」と声を掛けてくださいました。本間委員長のご指導宜きを得て、委員会の重要性を再認識することができ、お蔭様で翌年度、関会長をサポートして何とか幹事を務めあげ、そして今は、皆さんに心配を掛けながらも会長を何とか務めております。その時の縁もあり、本間さんにはいま幹事をお願いしている次第です。あらためてお礼を申し上げます。

今年初めに体調を崩されたと伺いましたが、そのうちに復帰されるものと信じておりました。お見舞いに伺った時には随分お元気でしたし、会長として頑張れよ、と逆に励ましていただきました。9月に見舞いに行かれた方からも「お元気だったよ」と伺っておりました。ひょっとしたら今年もお祭りにお孫さんを連れて参加され、事務所立ち寄られるかな、と内心期待しておりました。それなのに、なんで突然不帰の人となってしまわれたのでしょうか。先日、国分寺ロータリークラブの50周年チャリティーゴルフが催され、260人の方が参加されましたが、そこで何人の方からお悔やみの言葉を頂戴いたしました。あなたのあまりにも早い旅立ちに、皆さん驚きのご様子で非常に残念がっておられました。まだまだいろいろとお教えいただかなければならないことが多いのに、何故そんなに早く逝ってしまわれたのですか。残念でなりません。残されたご家族の悲歎の程を推し量りつくすことは出来ませんが、三田さんを通じて築いたご家族との絆を今後も大切に参りたいと希望致しております。

本日、故三田浩一会員の奥様およびご家族にご出席を賜り、追悼例会を開催するにあたって、当クラブにおける三田さんの業績を振り返り、また楽しかった在りし日を偲んで、心からご冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉と致します。どうぞ安らかに眠り下さい。

合掌

東京国立ロータリークラブ 会長 木島常明

■追悼の言葉

岡本貞雄

故三田浩一さんのご霊前に、友人を代表して謹んで追悼の言葉を申し上げます。

私が三田さんの訃報を初めて知ったのは、ご逝去された翌日の午後でした。たましん前の交差点で村上さんから伺いました。「岡本さんとは特別に親しかったからショックでしょう」と言われ、とっさに返す言葉もありませんでした。「快復した」とばかり思っていた私は、しばらくは信じられず、帰宅してからも自室に閉じこもり、現実を受け止めるのには相当の時間を要しました。そし



て今日、年長の私がこうして三田さんを追悼することになるうとは、思ってもみなかったことで、誠に痛恨の極みです。

私と三田さんのお付き合いは50年余りになります。知人の紹介で店に訪れ、そのまま常連になりました。店が主催するお花見や忘年会には必ず出席され、温かな性格から沢山の常連に好かれました。特に近年、私を含めて親しい常連とドライブ一泊旅行を楽しむなど、お店の外でのお付き合いも広がっていました。三田さんは若い時から酒の飲み方は大人びていて、泥酔することもなく、品の良い呑兵衛でした。マッカランの水割りを飲み、ご機嫌になると指をVの字に立てて「今夜は最高！」と言うのが口癖でした。

三田さんが逝ったいま、残された常連は楽しかった思い出を語り合いながら、淋しくグラスを傾けています。見舞いに行ったとき「ぼくはもうレッドトップで飲めないかも…」と、ポツンと言ったことが現実になるうとは、誰も思ってもいませんでした。

私と三田さんはロータリークラブ内で、さらに親好が深まりました。私が入会したのは今から20年前の丸山年度で、その時の幹事が三田さんでした。そして新人の私にあれこれと気を使ってくださいました。その後、三田さんは第35代の会長に指名されました。年次総会で理事を選任し、幹事を星田さんに決めて次年度に備えました。その直後の年末になって星田さんが会社の都合で幹事ができなくなり、三田会長エレクトは、早くもスタート時点でつまづきを見せたのです。年明け早々、星田さんに代わって私が幹事を頼まれました。三田さんとは長い付き合いだし、お世話になっているので二つ返事で承諾し、その後は2人で委員長の指名など三田年度へ向けて忙しく動き回りました。

三田年度の準備も整った2月の末、ペッツ（会長エレクト研修セミナー）の直前になって、三田さんは次年度の会長を辞退されました。その理由や無念さを知るにつけても、近くにいる何の力にもなれなかった自分の無力さを痛感しました。三田さんにとって、この時期が人生最大のピンチだったように思いました。

その後、三田さんはすっかり元気を取り戻し、3年後の杉田年度に、多摩中グループ幹事として、三田賢司ガバナー補佐とともに「三田三田コンビ」で1年間、6市12クラブを駆け回り、ロータリークラブの発展に尽力されました。

そして2011～12年度に、いよいよ第42代会長に就任しました。会長テーマは、いかにも三田さんらしく「明るく、楽しく、元気に、奉仕・親睦」でした。年度始めの例会には、多摩中グループの幹事時代の仲間が7人も集まり、会長就任を祝ってくれました。この時に、私は改めて三田さんの人付き合いの良さを感じました。

三田年度の実績は、先ほど木島会長が申しあげましたので省略しますが、改めて会報の綴りを見ると、どの記念写真も三田会長は中央にいて微笑んでいます。その笑顔を見ますと、三田さんはこの1年が人生で一番輝いていたように私は思いました。

三田さんはロータリークラブのキャリアはとても豊富でしたが、それを誇示することもなく、また熱中することもなく、淡々とロータリーライフを楽しんでい

ました。しかし、ロータリーに関する知識は相当に深く、歴代役員名簿の中にも数多く三田浩一の名前を残しております。三田さんの逝去はクラブにとって実に大きな損失であり、改めてその存在の大きさを感じました。

ところで私は今年の5月、長野の善光寺の御開帳に行ってきました。そこで三田さんの病氣全快を祈願してお札をいただいてきました。後日、病院にお持ちして「よくお願いしたから絶対に治るよ」と励ますと、三田さんはとても喜んでくださいました。そして年末に新居が完成したら退院するというのに、ご本人も、また私たちも疑う余地は全くありませんでした。しかし病状は急変し、突然として帰らぬ人になってしまいました。もう少しで新居が完成し、その頃に2番目のお孫さん、それも今度は女の子誕生の予定と伺いました。「新居に帰りたかったことでしょう」「お孫さんを抱きたかったことでしょう」と、それを思うと三田さんの無念の叫びが聞こえてきそうです。

ご遺族にとっても、堪え難い悲しみの日々が続いていることですが、私にとっても旧知の友を失った寂しさは日を追って深まっています。例会に来て、あのグリーンジャガーは駐車場にありません。「もう逢えないんだなあ」と思うと、恐ろしいほどの寂しさが襲ってきます。

しかし今、思い出すのは入院中のことです。病室にはいつも奥さまが付き添い、娘さんがいて、まだ幼いお孫さんがいました。病人とは思えないほどに快復した三田さんは、ニコニコして冗談を言っていました。私はこんなに明るい病室は見たことがありませんし、こんなに幸せそうな三田さんも見たことがありませんでした。思い返してみると、このことに象徴されるように、三田さんの人生は経済的に恵まれ、家族に恵まれ、最高の人生だったように思います。

そうは言っても、ご遺族にとっては未だ信じられない日々をお過ごしのことと思いますが、時が心を癒してくれます。どうか奥様をはじめご家族の方、三田さんを誇りに思い、遺志を継ぎ、三田家発展にご尽力ください。そして三田さんが28年間在籍した、東京国立ロータリークラブに遺された実績を引き継ぎ、合わせてロータリーの友情も今迄同様に深めていただくようお願いいたします。

思い出はとめどなく、語り尽くすことはできませんが、改めて三田浩一さん。長い間お付き合いいただき、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りし追悼の言葉といたします。

■ご遺族ご挨拶



本日は感激しました。悲しい場にはこれ以上出席したくないという気持ちで、出席をお断りしたい思いでしたが、長いことお世話になりました皆様にお礼をしなくては行けないと参りました。

皆様とは本当に長いお付き合いで、夫婦共々いろいろなイベントに参加させていただきまして楽しい思い出ばかりでございます。大変長いことお世話になりました、ありがとうございました。

ご挨拶をされる 三田幸子夫人

国際ロータリー第2750地区 2015-2016年度
多摩中グループインターシティミーティング

多摩中グループ IMインターシティミーティング
研究会「ロータリー平和フェロウシップ」プログラムについて



ロータリー平和センター ホストエリアコーディネーター補佐

山崎敬生氏

ロータリー平和フェロウ学友紹介・学友体験談・学友ビデオレター



岸谷美穂



金子由佳



原 きよ

2015年11月25日(水) 14:00～

大会テーマ 「Love & Peace」

大会コンセプト “多摩中グループ、更なる交流と親睦”

基調講演「無償の愛」自転車プロロードレーサー 宮澤崇史氏

イタリアのチームに所属しロードレーサーとしての経験を積む。

しかし23歳の時に母に肝臓の一部を生体移植で提供、成績振るわず戦力外通告によりチーム解雇される。その後フランスで単独活動、オリンピック出場や日本チャンピオン、アジアチャンピオンなど実績を重ね34歳の時に自転車競技連合における最もカテゴリーの高いプロチームに所属。在籍中にリーダージャージ(個人総合時間賞)・ポイントジャージ(スプリント賞)に日本人選手として唯一袖を通した。18年間の海外レース活動を経て2014年に引退。



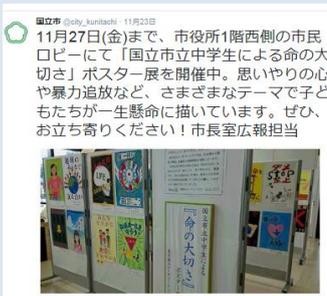
懇親会 バンド演奏・ロータリー平和フェロウ紹介



当クラブ会員

2015-16年度 「命の大切さ」ポスター展

2015年11月18日～11月27日 展示場所：国立市役所ロビー
展示78作品、会員による投票の結果、最優秀賞に3作品が選ばれました。



▲開催案内 市役所のツイッター・観光まちづくり協会のホームページ

▲展示作業終了後 国立市役所ロビーにて



最優秀賞に選ばれた作品

